

カリキュラムコード一覧

※14区分について、170コードを分かりやすく分類したものであり、登録理学療法士更新において、区分内で●ポイント以上取得しなくてはならないという要件はありません

2021年12月24日更新							
区分：1		区分：3		区分：5		区分：7	
1	プロフェッショナルリズム	32	医療倫理：医療倫理と臨床倫理	57	機能と構造、身体機能の低下	84	骨関節障害
2	リハビリテーション医学・医療	33	医療倫理：研究倫理と生命倫理	58	機能障害	85	関節可動域障害
3	理学療法概論	34	治療者-患者関係とコミュニケーション	59	活動	86	切断
4	個別指導・集団指導	35	医療面接	60	社会参加	87	骨粗鬆症
5	患者・対象者（家族を含む）教育	36	臨床心理学、心理社会的アプローチ	61	個人因子と環境因子	88	運動器疾患の理学療法
6	地域包括ケアシステム	37	臨床問題解決のプロセス	62	運動麻痺	89	徒手理学療法
7	地域リハビリテーション	38	理学療法評価	63	筋緊張異常	90	スポーツ分野における理学療法
8	医療保険サービスと理学療法	39	画像評価	64	歩行・歩行障害	91	障がい者スポーツ分野における理学療法
9	介護保険サービスと理学療法	40	生理機能検査と解釈	65	平衡機能障害	92	疼痛：急性痛
10	保険外・自費と理学療法	41	問題点抽出と目標設定	66	協調運動	93	疼痛：慢性痛
11	医療と介護および福祉の連携	42	ADL・IADL	67	筋力低下	94	疼痛：関節痛
12	障害者総合支援法と理学療法	43	臨床推論	68	意識障害、けいれん発作	95	疼痛：神経因性疼痛（中枢性・末梢性）
13	国際支援における理学療法	44	治療プログラム立案	69	視力障害、視野狭窄、視覚障害	96	疼痛に対する理学療法
14	医療制度と法律	45	エビデンス（根拠）に基づく理学療法	70	聴覚障害	97	疼痛管理
15	理学療法士及び作業療法士法	46	予後予測	71	感覚障害		
16	医療法ならびに関連職種の資格法	47	統計学	72	四肢のしびれ		
17	個人情報保護法	48	研究法	73	頭痛・めまい		
18	コンプライアンス（法令遵守）						
19	理学療法政策						

区分：2		区分：4		区分：6		区分：8	
20	医療マネジメント	49	理学療法法の基礎領域	74	中枢神経疾患	98	呼吸障害
21	医療情報(記録・保存)	50	基本的な理学療法治療技術	75	高次脳機能	99	呼吸器疾患
22	チーム医療・多職種連携	51	活動体としての人間理解：関節運動	76	失語症	100	呼吸理学療法
23	理学療法管理・学	52	活動体としての人間理解：基本動作	77	中枢神経疾患の理学療法	101	循環障害
24	信頼関係の構築と協働作業の実践	53	活動体としての人間理解：活動（運動）のメカニズム	78	高次脳機能障害の理学療法	102	運動耐容能
25	病院施設におけるBCP	54	神経・筋機能制御	79	脳血管障害後遺症	103	高血圧症
26	救急救命	55	薬理、薬物による人間の反応	80	脊髄損傷の理学療法	104	胸痛・動悸
27	医療安全・安全管理	56	褥瘡・創傷ケア	81	パーキンソン病関連疾患の理学療法	105	循環器疾患の理学療法
28	感染対策			82	末梢神経障害	106	心臓リハビリテーション
29	感染と理学療法			83	神経筋疾患の理学療法		
30	災害医療						
31	災害時の理学療法						

区分：9		区分：11		区分：13	
107	糖尿病、脂質異常	127	フレイル	150	予防と保健
108	栄養・代謝障害	128	廃用症候群	151	健康概念と健康寿命
109	内分泌・代謝疾患	129	老年症候群	152	健康維持・健康増進における理学療法
110	代謝疾患の理学療法	130	ロコモティブシンドローム	153	介護予防における理学療法
111	消化器疾患	131	慢性疾患・複合疾患の管理	154	地域保健
112	腎・泌尿器疾患	132	認知能の障害	155	産業理学療法における理学療法
113	生殖器疾患	133	認知症・MCIの理学療法	156	メンタルヘルス
114	血液疾患、自己免疫疾患	134	気分の障害（うつ）・不安	157	各ライフステージの人間理解
115	腫瘍	135	精神疾患に対する理学療法	158	臨床実習と教育
116	がんのリハビリテーション			159	スタッフ教育と教育システム
117	リンパ浮腫			160	コーチング・ファシリテーション

区分：10		区分：12		区分：14	
118	胎生期における発達過程	136	咀嚼・摂食・嚥下	161	急性期の理学療法
119	乳・幼児期における発達過程	137	咀嚼摂食嚥下の理学療法	162	周術期の理学療法
120	小児期における発達過程	138	言語障害、嗄声	163	回復期の理学療法
121	小児の疾患	139	構音障害の理学療法	164	生活期の理学療法
122	小児・発達障害の理学療法	140	リハビリテーション栄養	165	地域医療と理学療法
123	学校保健および特別支援教育における理学療法	141	耳鼻科領域の理学療法	166	在宅医療と理学療法
124	周産期の理学療法	142	再生医療と理学療法	167	終末期の理学療法
125	コンチネンス領域の理学療法	143	ICT・AIと理学療法	168	緩和ケア
126	ウィメンズヘルス・メンズヘルスにおける理学療法	144	ロボットと理学療法	169	訪問理学療法
		145	住環境	170	通所理学療法
		146	支援工学		
		147	義肢		
		148	装具		
		149	福祉用具		